



ふるさとの**自然** ————— (67)

またやって来るかも？ コウノトリ

○幸せを運ぶ鳥

コウノトリは背の高さが1 m以上もある大きな鳥で、白い体と長い真っ赤な足が目立ちます。大きなくちばしでカエルやザリガニなどを食べます。主にヨーロッパやアジアにすんでいて、ヨーロッパでは「赤ちゃんを運んでくる鳥」「幸せを運ぶ鳥」として大切にされています。日本でも昔は全国的にすみ、県内でも繁殖していました。しかし生息環境の破壊や農薬の影響などで日本産のコウノトリは絶滅し、今は冬に大陸から少数が渡って来るだけになりました。写真のコウノトリは、9年前に三川地区の田んぼにやって来て一冬を越した鳥ですが、この鳥も大陸から飛んで来たものです。

○野生復活の試み

今年7月23日に、野田市で飼育していたコウノトリ3羽が野外に放されました。姿を消したコウノトリを復活させようという試みです。兵庫県豊岡市では10年前から行われて野外でも繁殖するようになり、今では80羽余りに増えているそうです。市内にもまたやって来てほしいものですね。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)